

# 2025年3月期 第1四半期 決算説明会



2024年8月5日

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

## 2025年3月期 第1四半期決算状況

2025年3月期 第1四半期決算におけるポイント	4
1. 売上高・利益 .....	5
2. セグメント別業績 .....	8
- 自動車電池（国内）	9
- 自動車電池（海外）	10
- 産業電池電源	11
- 車載用リチウムイオン電池	12
- 特殊電池およびその他	13
3. 貸借対照表 .....	14

## 2025年3月期 事業環境認識と業績予想

1. 第2四半期以降の事業環境認識 .....	16
2. 売上高・利益予想 .....	17

# 2025年3月期 第1四半期決算状況

---

# 2025年3月期 第1四半期決算におけるポイント



## 2025年3月期 第1四半期業績 (4-6月)

	2023 年度 第1四半期(4-6月)	2024 年度 第1四半期 (4-6月)	増減	前年比
売上高	1,205 億円	<b>1,276 億円</b>	+71 億円	+5.8 %
営業利益	48 億円	<b>62 億円</b>	+14 億円	+27.9 %
のれん等償却前営業利益	49 億円	<b>64 億円</b>	+15 億円	+28.6 %
経常利益	49 億円	<b>67 億円</b>	+18 億円	+35.5 %
親会社株主に帰属する四半期純利益	16 億円	<b>48 億円</b>	+32 億円	+190.1 %
のれん等償却前 親会社株主に帰属する四半期純利益	17 億円	<b>49 億円</b>	+32 億円	+183.2 %
[参考] のれん等償却前営業利益 (超インフレ会計適用前)	-	<b>68 億円</b>	-	-
EPS (1株当たり四半期純利益)	20.51 円	<b>47.71 円</b>	+27.2 円	+132.6 %

### 業績の動向

- 売上高および営業利益の増加要因 : 自動車電池の販売数量の増加  
各セグメントにおける販売価格是正の効果
- 経常利益の増加要因 : 持分法による投資損益の増加
- 四半期純利益の増加要因 : 法人税等および非支配株主に帰属する四半期純利益の減少

# 1. 売上高・利益



(億円)

[参考] 2024 年度予想

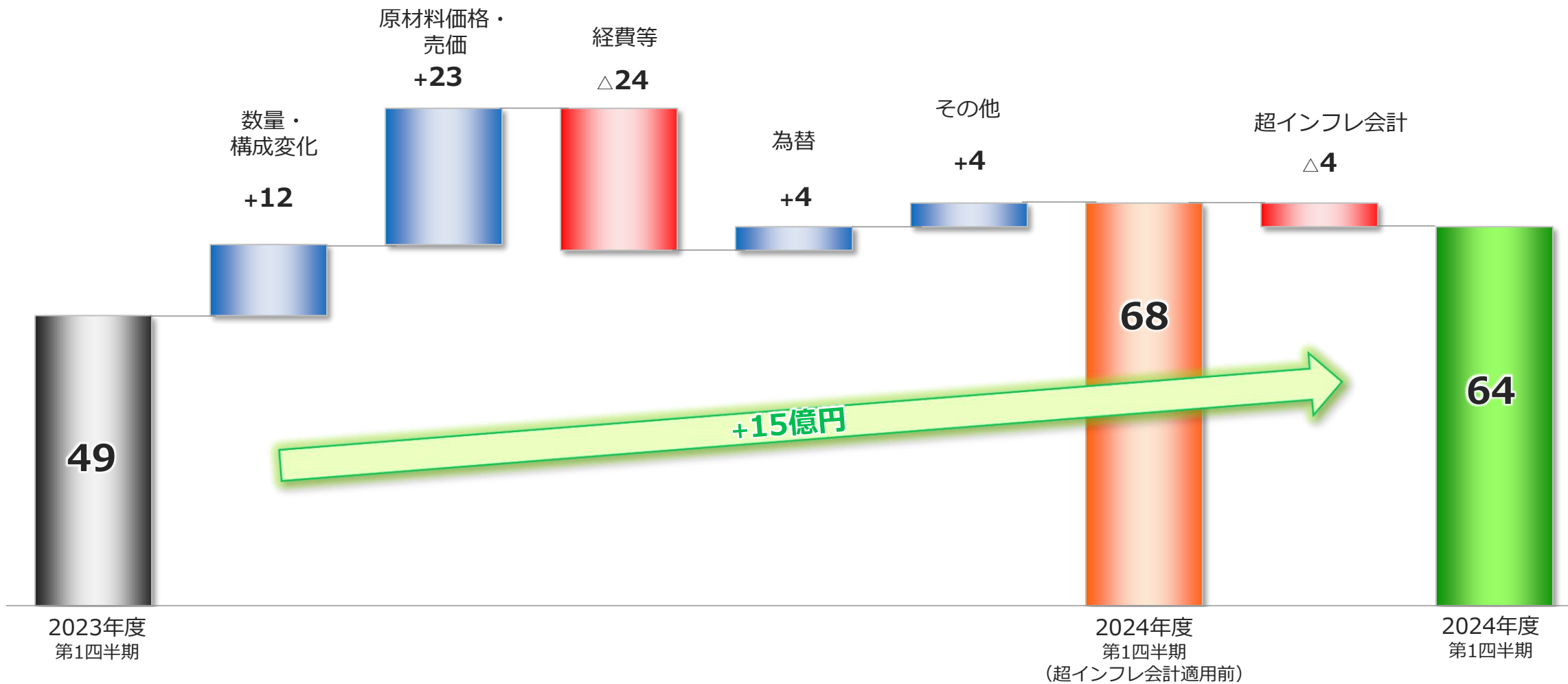
	2023 年度 第1四半期 (4-6月)		2024 年度 第1四半期 (4-6月)		増減	(前期比)	[参考] 2024 年度予想		
							上期 (4-9月)	通期 (4-3月)	
売上高	1,205		<b>過去最高</b> 1,276		+71	(+5.8%)	2,630	5,900	
売上総利益	258		284		+26		-	-	
営業利益 (利益率)	48	4.0%	<b>過去最高</b> 62	4.8%	+14	+0.8P (+27.9%)	130	440	4.9% 7.5%
のれん等償却前営業利益 (利益率)	49	4.1%	<b>過去最高</b> 64	5.0%	+15	+0.9P	-	445	7.5%
営業外収益	17		22		+5		-	-	
営業外費用	16		17		+1		-	-	
うち持分法による投資損益 (△は損失)	2		8		+6		-	-	
経常利益	49	4.1%	<b>過去最高</b> 67	5.2%	+18	+1.1P (+35.5%)	125	440	4.8% 7.5%
特別利益	4		0		△4		-	-	
特別損失	7		1		△6		-	-	
税前三半期純利益	47		67		+20		-	-	
法人税等	15		8		△7		-	-	
非支配株主 四半期純利益	15		11		△4		-	-	
親会社株主 四半期純利益 (利益率)	16	1.4%	<b>過去最高</b> 48	3.8%	+32	+2.4P (+190.1%)	60	260	2.3% 4.4%
のれん等償却前親会社株主 四半期純利益 (利益率)	17	1.4%	<b>過去最高</b> 49	3.9%	+32	+2.5P	-	265	4.5%
[参考] のれん等償却前営業利益 (超インフレ会計適用前) (利益率)	-		68	5.3%	-		-	471	8.0%
EPS (1株当たり四半期純利益)	20.51 円		47.71 円		+27.2 円		59.82 円	259.21 円	
CF計算書 関係	減価償却費	53	58		+5		-	-	
	のれん償却費	1	1		+0		-	-	
相場情報/ 前提条件	国内鉛建値 (万円/t)	35.60 万円/t	39.98 万円/t		+4.38 万円/t		37.2 万円/t	37.2 万円/t	
	LME (US\$/t)	2,118 US\$/t	2,166 US\$/t		+48 US\$/t		2,200 US\$/t	2,200 US\$/t	
	為替 (円/US\$)	139.63 円/US\$	158.24 円/US\$		+18.61 円/US\$		150.00 円/US\$	145.00 円/US\$	

(注) 2024年度の通期予想における「超インフレ会計適用額」は23年度と同水準を営業利益に計上。

# 1. 売上高・利益

## 営業利益増減要因（前年比較）

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

# 1. 売上高・利益

## 営業外損益・特別損益・法人税等などの増減要因（前年比較）

(億円)

	2023 年度 第1四半期 (4-6月)	2024 年度 第1四半期 (4-6月)	増減
営業利益	48	62	+14
営業外収益	17	22	+5
営業外費用	16	17	+1
経常利益	49	67	+18
特別利益	4	0	△4
特別損失	7	1	△6
税金等調整前四半期純利益	47	67	+20
法人税等	15	8	△7
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	11	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	16	48	+32

主な要因 ( ) 内は2024年度1Qの金額

- ▶ 持分法損益の改善 +6億円  
(持分法による投資利益 8億円)
- ▶ 超インフレ会計適用による増加 +3億円  
(正味貨幣持高による利得 3億円)
- ▶ 為替差損の増加 △9億円  
(為替差損 3億円)
- ▶ 債券売却損の減少 +3億円  
(債券売却損 1億円)

- ▶ 海外子会社における税金費用の減少

# 2. セグメント別業績



(億円)

		2023 年度 第1四半期 (4-6月)		2024 年度 第1四半期 (4-6月)		増減		[参考] 2024 年度 第1四半期 (4-6月) (超インフレ会計適用前)		[参考] 2024 年度予想 通期 (4-3月)	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)
自動車 電池	国内	196	10 (5.2)	208	16 (7.8)	+12	+6 (+2.6)	208	16 (7.8)	1,000	80 (8.0)
	海外	584	28 (4.7)	652	48 (7.4)	+68	+20 (+2.7)	652	52 (8.0)	2,590	165 (6.4)
産業電池電源		179	2 (0.8)	195	9 (4.8)	+16	+7 (+4.0)	195	9 (4.8)	1,200	130 (10.8)
車載用 リチウムイオン電池		195	4 (2.2)	161	△20 (△12.6)	△34	△24 (△14.8)	161	△20 (△12.6)	900	40 (4.4)
特殊電池およびその他		52	6 (10.9)	60	10 (16.9)	+8	+4 (+6.0)	60	10 (16.9)	210	30 (14.3)
合計		1,205	49 (4.1)	1,276	64 (5.0)	+71	+15 (+0.9)	1,276	68 (5.3)	5,900	445 (7.5)

### 24年度 第1四半期実績

- 自動車電池・産業電池電源事業を中心に売価転嫁の効果により売上高は増加
- 自動車生産は新車メーカーの操業停止などにより若干減少
- 車載用リチウムイオン電池はリチウム市況下落による売価低下、PHEV向け数量減により減少
- 鉛価格動向はLMEは安定的に推移するも、円安影響を受けて国内鉛建値は高止まり
- 為替は円安基調が継続も為替介入・利上げ観測などにより不透明な状況

### <相場情報/ 前提条件>

	2023 年度 (4-6月)	2024 年度 (4-6月)	増減	[参考] 2024 年度予想 通期 (4-3月)
国内鉛建値 (万円/t)	35.60	39.98	+4.38	37.2
LME (US\$/t)	2,118	2,166	+48	2,200
為替 (円/US\$)	139.63	158.24	+18.61	145.00

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

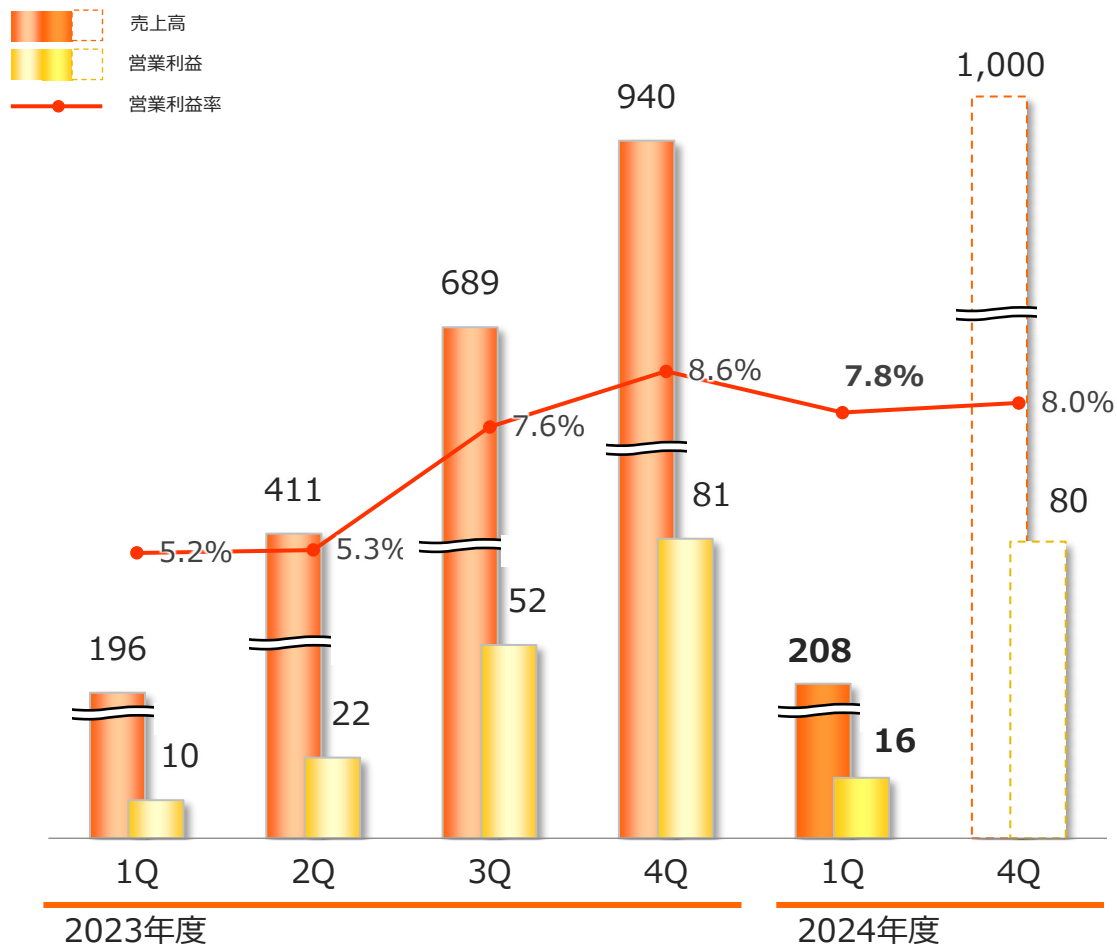


## 2. セグメント別業績（自動車電池（国内））

### 自動車電池（国内）

### 増収増益

売上高・営業利益・利益率（累計） （億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2024年度 第1四半期商況（4-6月）

- **[新車向け]** ➡  
 新車メーカーの操業停止などにより販売数量は減少するも、売価見直しにより売上高は増加
- **[補修向け]** ➡  
 販売数量が若干増加したことにより売上高が増加

#### 増減益要因（前年比：4-6月）

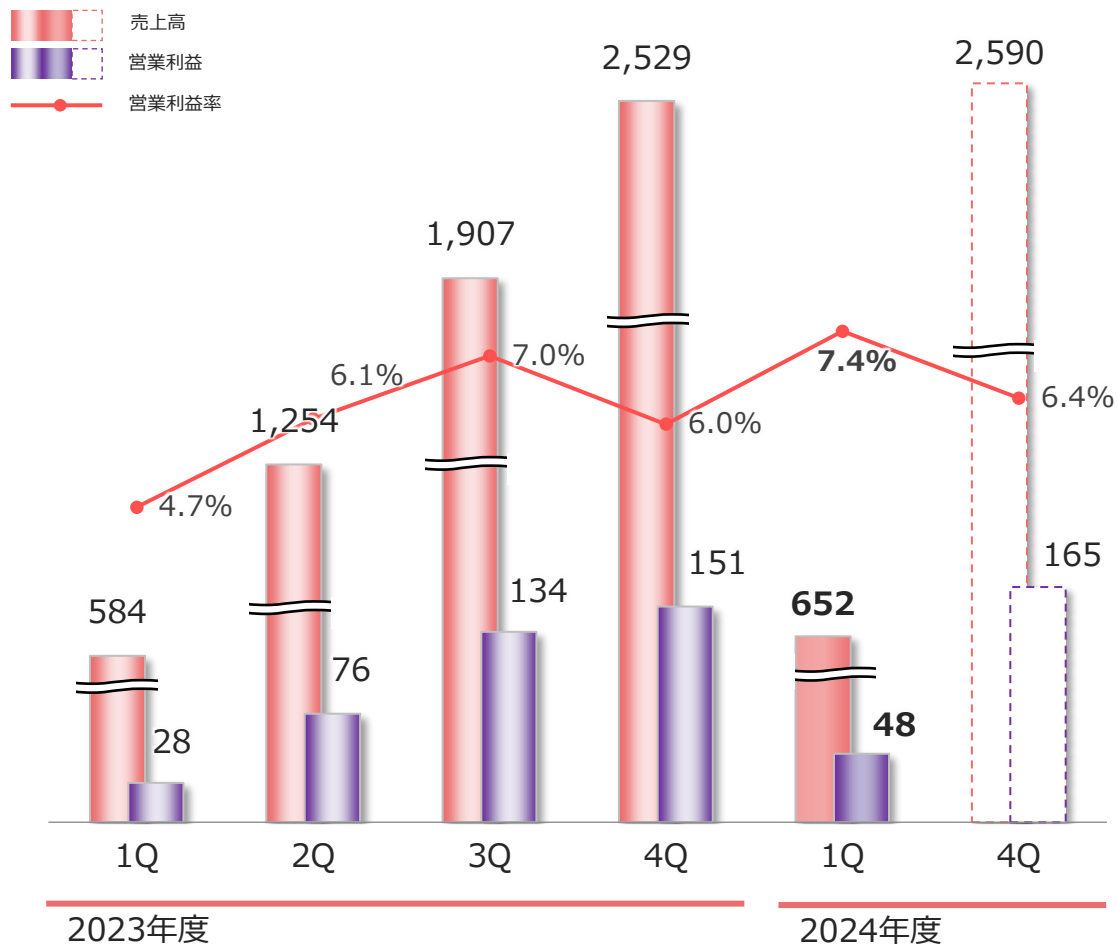
数量・構成変化	+2	
原材料価格・売価	+7	新車向け売価見直しにより増加
経費等	△3	

## 2. セグメント別業績（自動車電池（海外））

### 自動車電池（海外）

### 増収増益

売上高・営業利益・利益率（累計） （億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2024年度 第1四半期商況（4-6月）

- **[東南アジア]** 戦略拠点であるタイ・インドネシア・ベトナムのすべてで、自動車用、オートバイ用ともに販売数量が増加
- **[欧州]** 需要が旺盛な欧州市場で、トルコリラ安を背景とした競争力のある自動車用電池の販売数量が堅調に推移するとともに、売価見直し・為替影響により売上高は増加
- **[豪州]** 「Made in Australia」による販売数量の増加と売価見直し・為替影響により売上高は増加

増減益要因（前年比：4-6月）

数量・構成変化	+25	戦略拠点を中心に数量増加
原材料価格・売価	+15	コスト上昇の売価反映により増加
経費等	△19	インフレ影響による経費増加
為替	+4	円安による換算影響
超インフレ会計	△4	

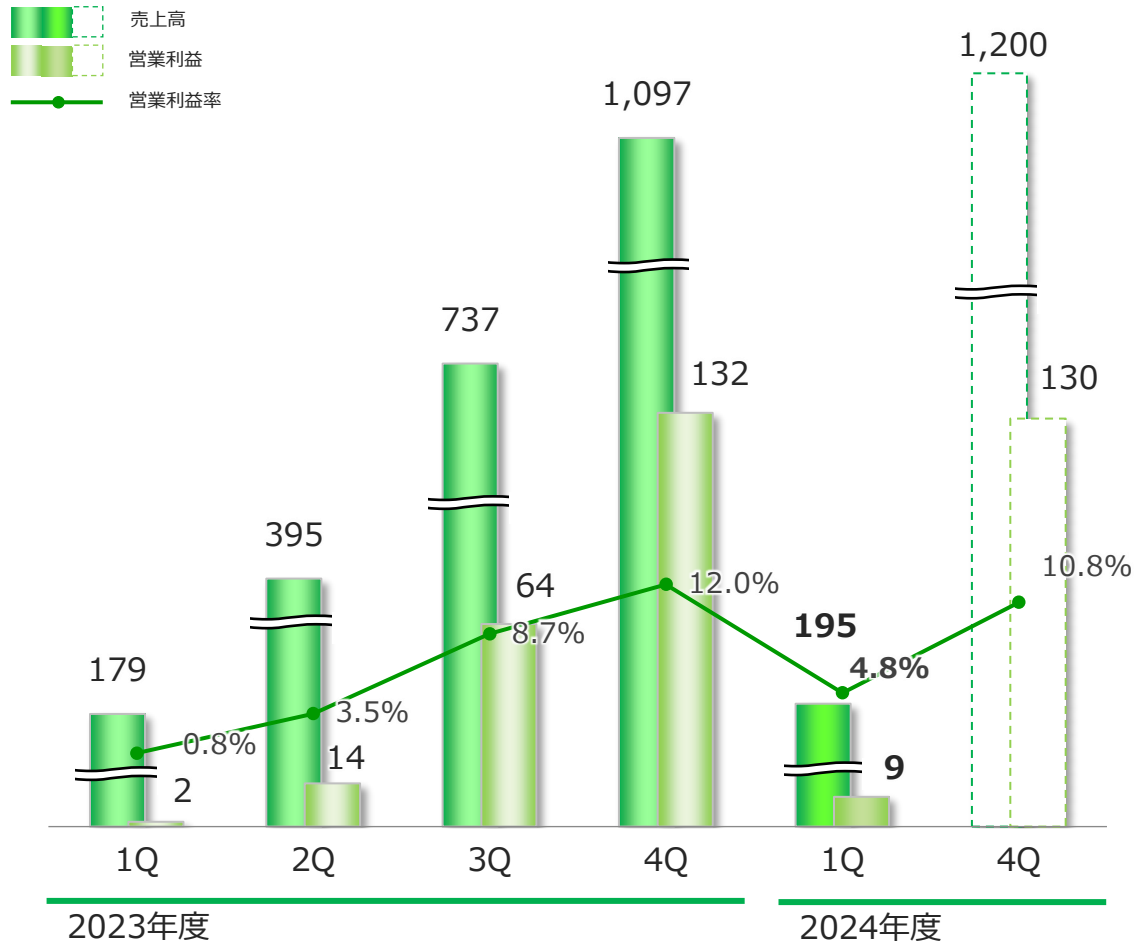
## 2. セグメント別業績 (産業電池電源)

### 産業電池電源

### 増収増益

売上高・営業利益・利益率 (累計)

(億円)



2024年度 第1四半期商況 (4-6月)

- ▶ **[常用 (国内)]** 前期末の期ズレ案件の納入により売上高が増加
- ▶ **[非常用 (国内)]** 官公庁・原子力向けなどの好調に加えて、データセンター需要の拡大による販売増により、売上高は堅調に推移
- ▶ **[フォークリフト用 (グローバル)]** 売価見直しなどにより売上高は増加

増減益要因 (前年比: 4-6月)

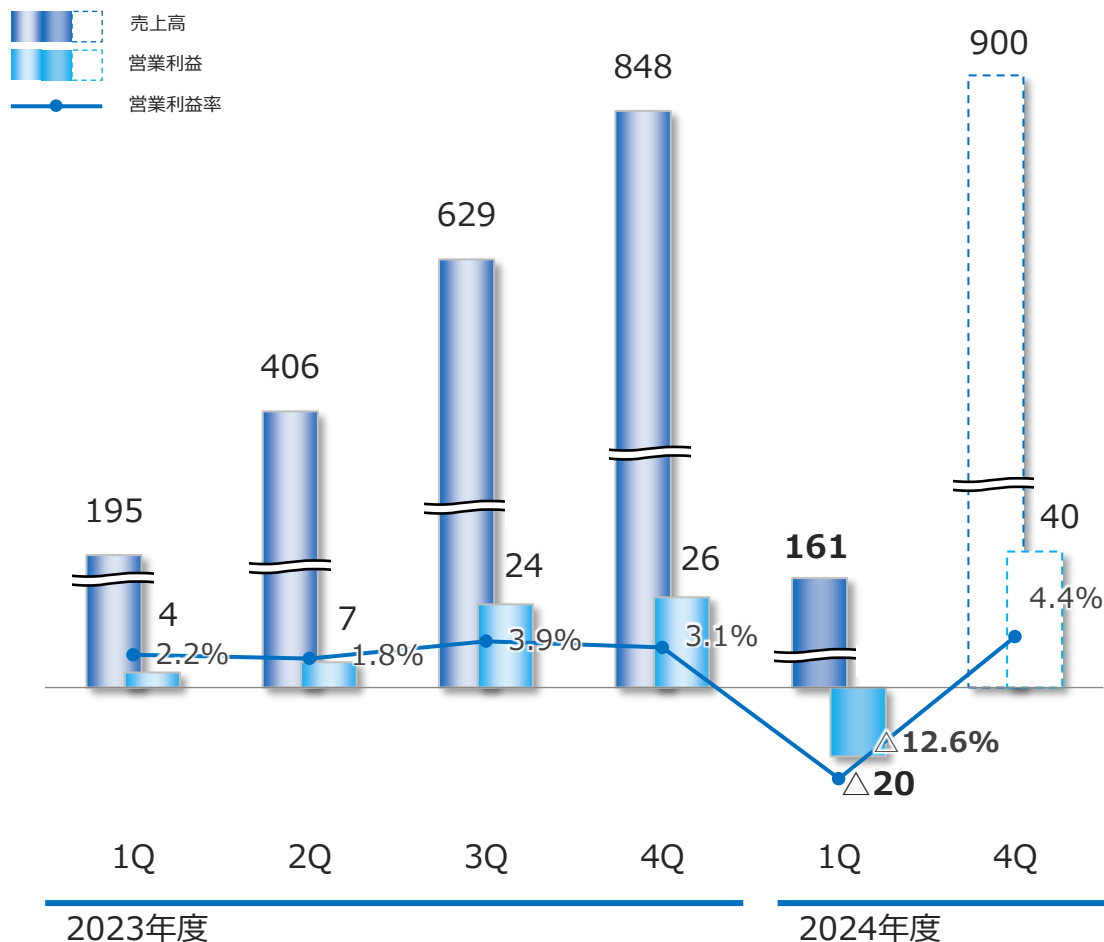
数量・構成変化	△1	
原材料価格・売価	+5	売価見直しにより増加
経費等	+3	

## 2. セグメント別業績 (車載用リチウムイオン電池)

### 車載用リチウムイオン電池

### 減収減益

売上高・営業利益・利益率 (累計) (億円)



2024年度 第1四半期商況 (4-6月)

- **[HEV]** ⬇️  
ホンダを中心に販売数量は増加したものの、リチウム市況の下落を受けて売上高が減少
- **[PHEV]** ⬇️  
納入車種の販売数量が減少
- **[12V LiB]** ⬆️  
欧州向け納入車種の販売増加により販売数量が増加

増減益要因 (前年比: 4-6月)

数量・構成変化	△14	PHEV・ESS用の販売数量の減少とそれに伴う操業度の低下影響
原材料価格・売価	△4	リチウム市況下落に伴う売価低下
経費等	△6	在庫の簿価切り下げの影響

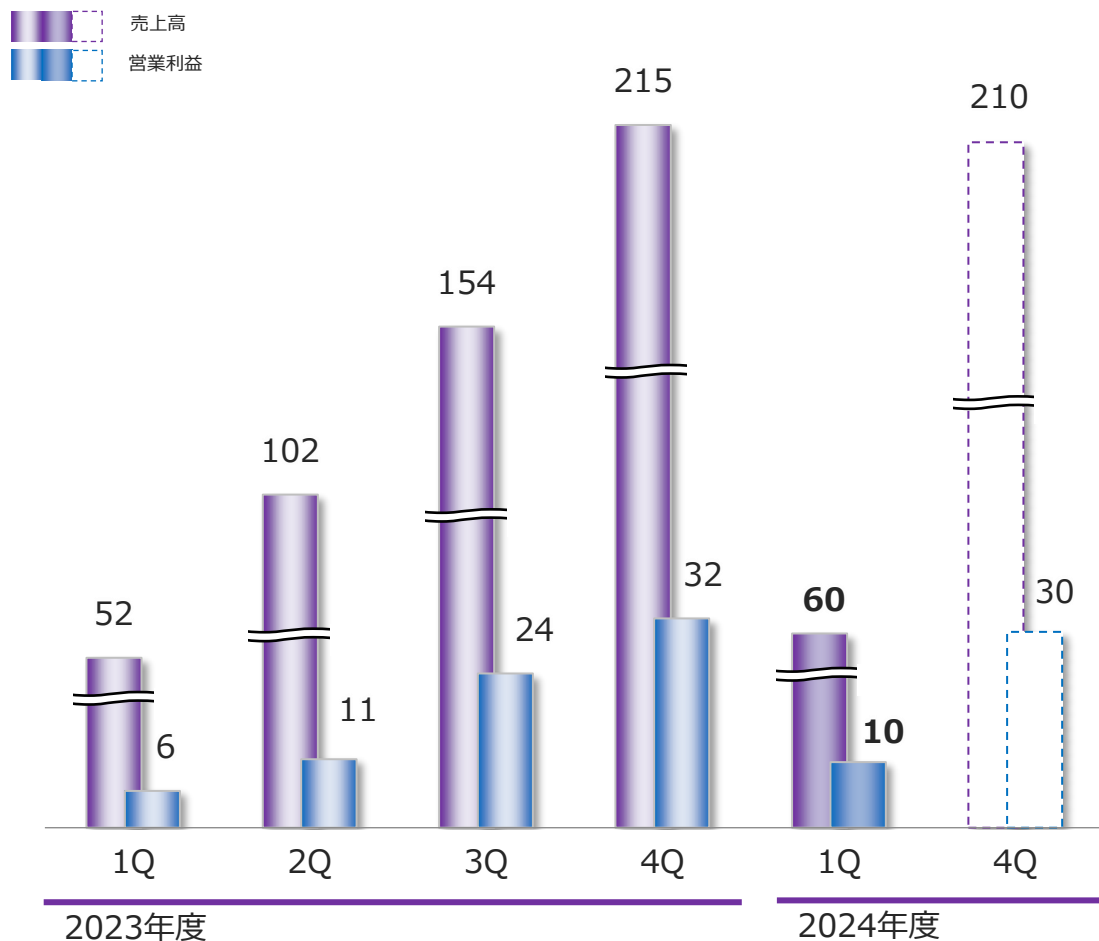
## 2. セグメント別業績 (特殊電池およびその他)

### 特殊電池およびその他

### 増収増益

売上高・営業利益 (累計)

(億円)



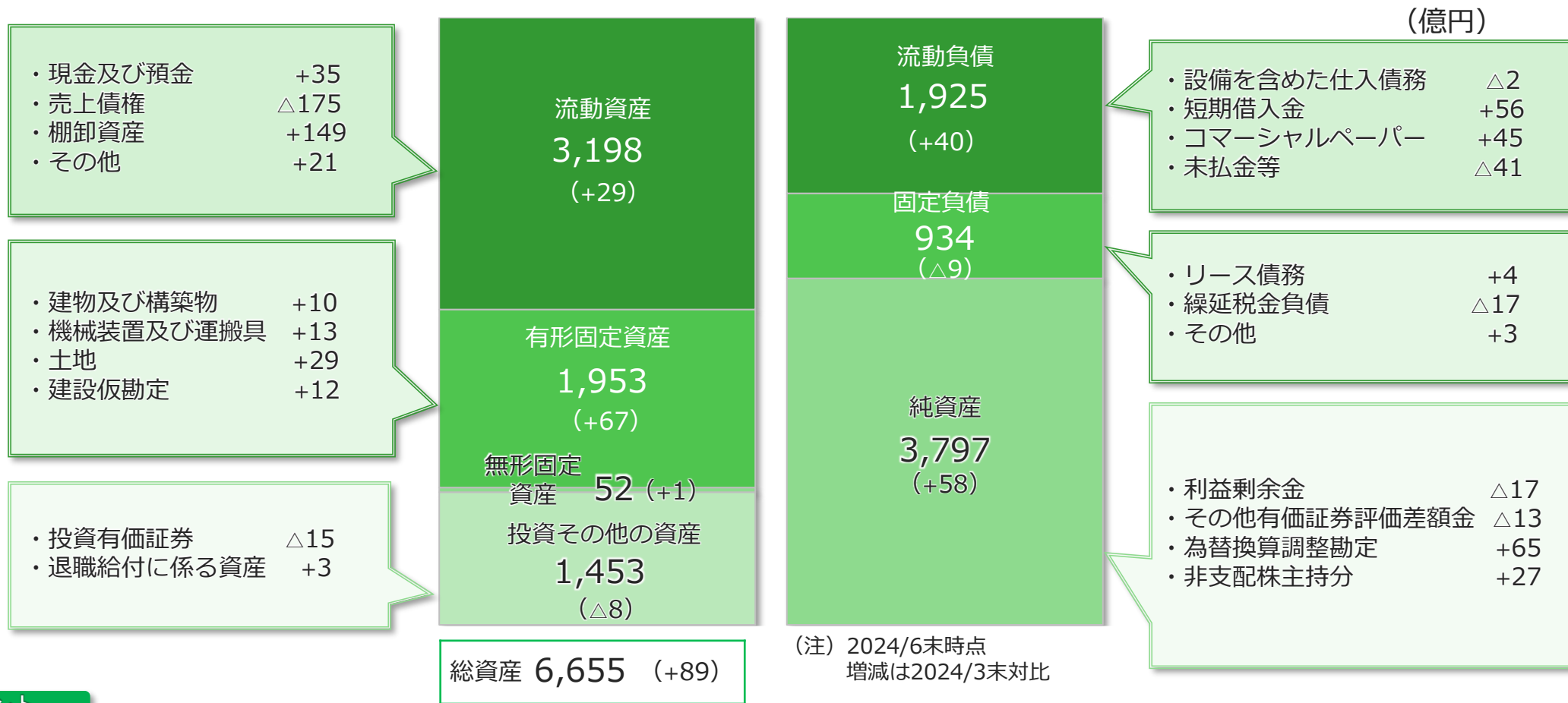
2024年度 第1四半期商況 (4-6月)

- ▶ **[潜水艦用リチウムイオン電池]** ↗  
契約単価見直しにより売上高が増加
- ▶ **[航空機用リチウムイオン電池]** ↘  
新設向けは増加したものの、エアライン (補修) 向け販売数量は減少

増減益要因 (前年比: 4-6月)

潜水艦用リチウムイオン電池の契約単価見直しならびに、経費の減少により増益

# 3. 貸借対照表



- ポイント**
- 産業電池電源事業を中心に在庫が増加
  - 川越事業所 (IBGYIS) の土地建屋取得
  - 円安に伴い為替換算調整勘定が増加

	2024/3末	2024/6末
自己資本比率	50.3%	50.0%
借入金総額	762億円	863億円

# 2025年3月期 事業環境認識と業績予想

---

# 1. 第2四半期以降の事業環境認識

自動車電池	国内	<p><b>新車メーカーの操業の見通しは不透明なものの、補修向けは2Q以降も堅調を想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;新車向け&gt; 操業の見通しは不透明</li> <li>➤ &lt;補修向け&gt; 2Q以降も若干上振れの想定</li> </ul>
	海外	<p><b>戦略拠点（アセアン・欧州・豪州）を中心に売価・数量ともに2Q以降も好調を想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;アセアン&gt; インドネシア・ベトナムは2Q以降も好調が継続する想定</li> <li>➤ &lt;欧州&gt; トルコ拠点から欧州向け輸出販売が2Q以降も好調の想定</li> <li>➤ &lt;豪州&gt; 売価転嫁が進むとともに、数量も好調に推移しており2Q以降も好調継続の想定</li> </ul>
産業電池電源		<p><b>常用は引き合いは多いものの顧客都合により納入時期が前後する可能性があり、2Q以降については現時点では当初予想並みを想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;常用&gt; 生産能力以上の引き合いが来ているが、補助金などの関係による顧客都合で納入時期が前後する可能性あり</li> <li>➤ &lt;フォークリフト&gt; 国内・海外ともに2Q以降も堅調を維持する想定</li> </ul>
車載用リチウムイオン電池		<p><b>HEV向けはリチウム市況下落による売価低下の影響が続くものの、数量増・売価見直しなどにより挽回を想定。</b></p> <p><b>PHEV向けは納入車種の販売数量減については下期に納入車種拡大により挽回を想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;HEV&gt; リチウム市況下落による原材料・売価のスプレッド悪化の影響が続くものの、数量増・売価見直しなどにより挽回を想定</li> <li>➤ &lt;PHEV&gt; 納入車種の販売数量減があったものの下期は納入車種拡大による挽回を想定</li> </ul>
特殊電池およびその他		<p><b>潜水艦向けは売価見直しの影響が続くものの、航空機向け数量減は2Q以降も継続を想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;潜水艦向け&gt; 契約単価見直しによる値上げ影響が2Q以降も継続する想定</li> <li>➤ &lt;航空機向け&gt; 新設向けは増加するもエアライン（補修）向けは減少が2Q以降も継続する想定</li> <li>➤ &lt;管理部門&gt; 2Q以降に若干の経費の増加を想定</li> </ul>



## 2. 売上高・利益予想



	2023 年度 実績		2024 年度 予想		(億円)	
	上期 (4-9月)	通期 (4-3月) (B)	上期 (4-9月)	通期 (4-3月) (A)	増減 ((A)-(B))	(前期比)
売上高	2,568	5,629	<b>2,630</b>	<b>5,900</b>	+271	(+4.8%)
営業利益 (利益率)	127 4.9%	416 7.4%	<b>130 4.9%</b>	<b>440 7.5%</b>	+24 +0.1P	(+5.8%)
のれん等償却前営業利益 (利益率)	129 5.0%	422 7.5%	-	<b>445 7.5%</b>	+23 +0.0P	
経常利益	120 4.7%	440 7.8%	<b>125 4.8%</b>	<b>440 7.5%</b>	+0 △0.3P	(+0.0%)
親会社株主 当期純利益 (利益率)	60 2.3%	321 5.7%	<b>60 2.3%</b>	<b>260 4.4%</b>	△61 △1.3P	(△18.9%)
のれん等償却前親会社株主 当期純利益 (利益率)	62 2.4%	326 5.8%	-	<b>265 4.5%</b>	△61 △1.3P	
[参考] のれん等償却前営業利益 (超インフレ会計適用前)	-	449 8.0%	-	<b>471 8.0%</b>	+22 +0.0P	
EPS (1株当たり当期純利益)	74.06 円	369.74 円	<b>59.82 円</b>	<b>259.21 円</b>	△110.53 円	
配当金 (円/株) (24年度は予定)	15 円 (中間)	70 円 (通期)	<b>20 円 (中間)</b>	<b>70 円 (通期)</b>	±0 円	
相場情報/前提条件	国内鉛建値 (万円/t)	36.84 万円/t	37.34 万円/t	<b>37.2 万円/t</b>	<b>37.2 万円/t</b>	△0.14 万円/t
	LME (US\$/t)	2,144 US\$/t	2,121 US\$/t	<b>2,200 US\$/t</b>	<b>2,200 US\$/t</b>	+79 US\$/t
	為替 (円/US\$)	142.61 円/US\$	145.31 円/US\$	<b>150.00 円/US\$</b>	<b>145.00 円/US\$</b>	△0.31 円/US\$

(注) 2024年度の通期予想における「超インフレ会計適用額」は23年度と同水準を営業利益に計上。

### 業績の見通し

- 5月発表時点から市場環境に変化はありますが、決算発表時点では業績見通しに大きな修正はございません。
- 売上高・各利益 (全社・セグメント) とも業績見通しの修正は行っておりません。

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。



連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
コーポレート室（広報） 青木 裕・西島 務・田中 祥太・神田 文  
Tel : 075-312-1214  
<https://www.gs-yuasa.com/jp>

## 參考資料

---

# 参考資料. 売上高・利益 (3か月情報)



(億円)

[参考] 前四半期情報

	2023 年度 第1四半期 (4-6月)		2024 年度 第1四半期 (4-6月) (A)		増減 (前期比)		2023年度 第4四半期 (1-3月) (B)		増減 ((A)-(B))	
売上高	1,205		<b>1,276</b>		+71	(+5.8%)	1,513		△237	
売上総利益	258		<b>284</b>		+26		331		△47	
営業利益 (利益率)	48	4.0%	<b>62</b>	<b>4.8%</b>	+14	+0.8P (+27.9%)	122	8.1%	△60	△3.3P
のれん等償却前営業利益 (利益率)	49	4.1%	<b>64</b>	<b>5.0%</b>	+15	+0.9P	124	8.2%	△60	△3.2P
営業外収益	17		<b>22</b>		+5		41		△19	
営業外費用	16		<b>17</b>		+1		13		+4	
うち持分法による投資損益 (△は損失)	2		<b>8</b>		+6		2		+6	
経常利益	49	4.1%	<b>67</b>	<b>5.2%</b>	+18	+1.1P (+35.5%)	150	9.9%	△83	△4.7P
特別利益	4		<b>0</b>		△4		7		△7	
特別損失	7		<b>1</b>		△6		17		△16	
税前三半期純利益	47		<b>67</b>		+20		140		△73	
法人税等	15		<b>8</b>		△7		△14		+22	
非支配株主 四半期純利益	15		<b>11</b>		△4		11		+0	
親会社株主 四半期純利益 (利益率)	16	1.4%	<b>48</b>	<b>3.8%</b>	+32	+2.4P (+190.1%)	143	9.5%	△95	△5.7P
のれん等償却前親会社株主 四半期純利益 (利益率)	17	1.4%	<b>49</b>	<b>3.9%</b>	+32	+2.5P	146	9.6%	△97	△5.7P
[参考] のれん等償却前営業利益 (超インフレ会計適用前) (利益率)	-		<b>68</b>	<b>5.3%</b>	-		-		-	
相場情報	国内鉛建値 (万円/t)	35.60 万円/t	<b>39.98 万円/t</b>		+4.38 万円/t		37.51 万円/t		+2.47 万円/t	
	LME (US\$/t)	2,118 US\$/t	<b>2,166 US\$/t</b>		+48 US\$/t		2,076 US\$/t		+90 US\$/t	
	為替 (円/US\$)	139.63 円/US\$	<b>158.24 円/US\$</b>		+18.61 円/US\$		149.88 円/US\$		+8.36 円/US\$	

# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)



(億円)

		2023 年度 第1四半期 (4-6月)		2024 年度 第1四半期 (4-6月) (A)		増減		[参考] 前四半期情報			
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	2023年度 第4四半期 (1-3月) (B)		増減 ((A)-(B))	
自動車 電池	国内	196	10 (5.2)	<b>208</b>	<b>16</b> (7.8)	+12	+6 (+2.6)	252	29 (11.4)	△44	△13 (△3.6)
	海外	584	28 (4.7)	<b>652</b>	<b>48</b> (7.4)	+68	+20 (+2.7)	622	18 (2.8)	+30	+30 (+4.6)
産業電池電源		179	2 (0.8)	<b>195</b>	<b>9</b> (4.8)	+16	+7 (+4.0)	359	67 (18.8)	△164	△58 (△14.0)
車載用 リチウムイオン電池		195	4 (2.2)	<b>161</b>	△20 (△12.6)	△34	△24 (△14.8)	218	2 (1.0)	△57	△22 (△13.6)
特殊電池およびその他		52	6 (10.9)	<b>60</b>	<b>10</b> (16.9)	+8	+4 (+6.0)	62	8 (13.7)	△2	+2 (+3.2)
合計		1,205	49 (4.1)	<b>1,276</b>	<b>64</b> (5.0)	+71	+15 (+0.9)	1,513	124 (8.2)	△237	△60 (△3.2)

## 24年度 第1四半期実績

- 自動車電池・産業電池電源事業を中心に売価転嫁の効果により売上高は増加
- 自動車生産は新車メーカーの操業停止などにより若干減少
- 車載用リチウムイオン電池はリチウム市況下落による売価低下、PHEV向け数量減により減少
- 鉛価格動向はLMEは安定的に推移するも、円安影響を受けて国内鉛建値は高止まり
- 為替は円安基調が継続も為替介入・利上げ観測などにより不透明な状況

<相場情報>	2023 年度 第1四半期 (4-6月)	2024 年度 第1四半期 (4-6月) (A)	増減	[参考] 前四半期情報	
				2023年度 第4四半期 (1-3月) (B)	増減 ((A)-(B))
国内鉛建値 (万円/t)	35.60	<b>39.98</b>	+4.38	37.51	+2.47
LME (US\$/t)	2,118	<b>2,166</b>	+48	2,076	+90
為替 (円/US\$)	139.63	<b>158.24</b>	+18.61	149.88	+8.36

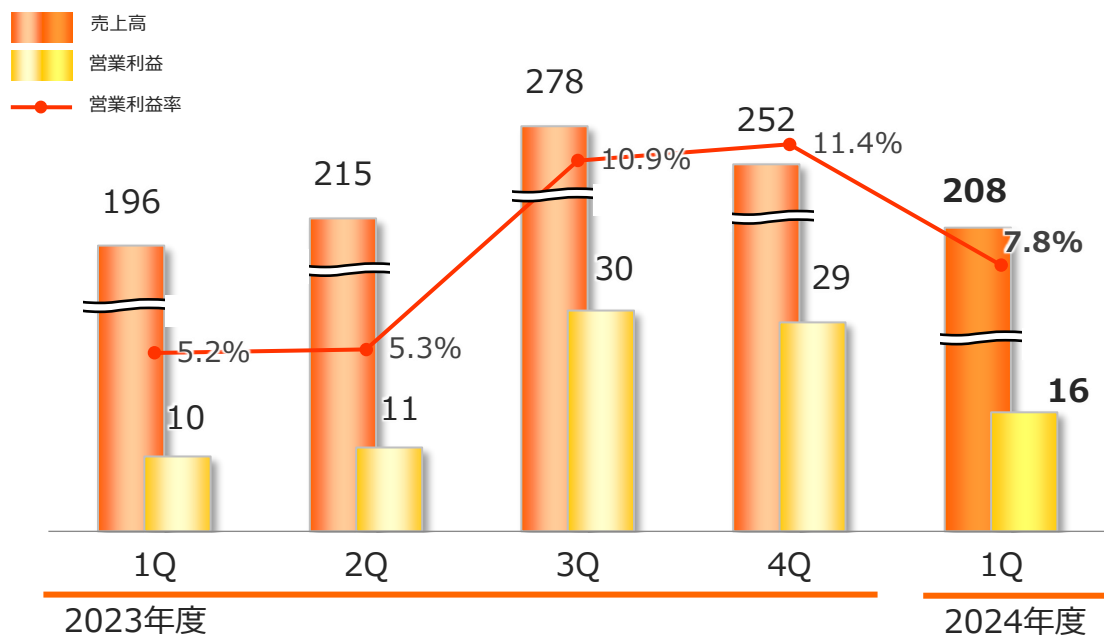
(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

## 自動車電池 (国内)

## 増収増益

売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



### 増減益要因 (前年比: 4-6月)

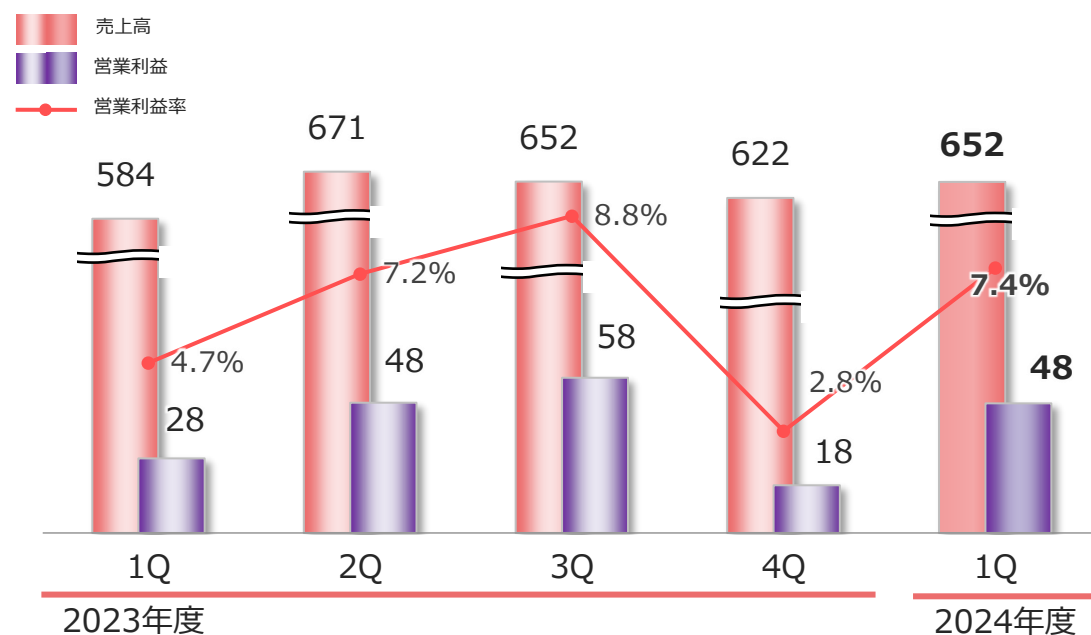
数量・構成変化	+2	
原材料価格・売価	+7	新車向け売価見直しにより増加
経費等	△3	

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

## 自動車電池 (海外)

## 増収増益

売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



### 増減益要因 (前年比: 4-6月)

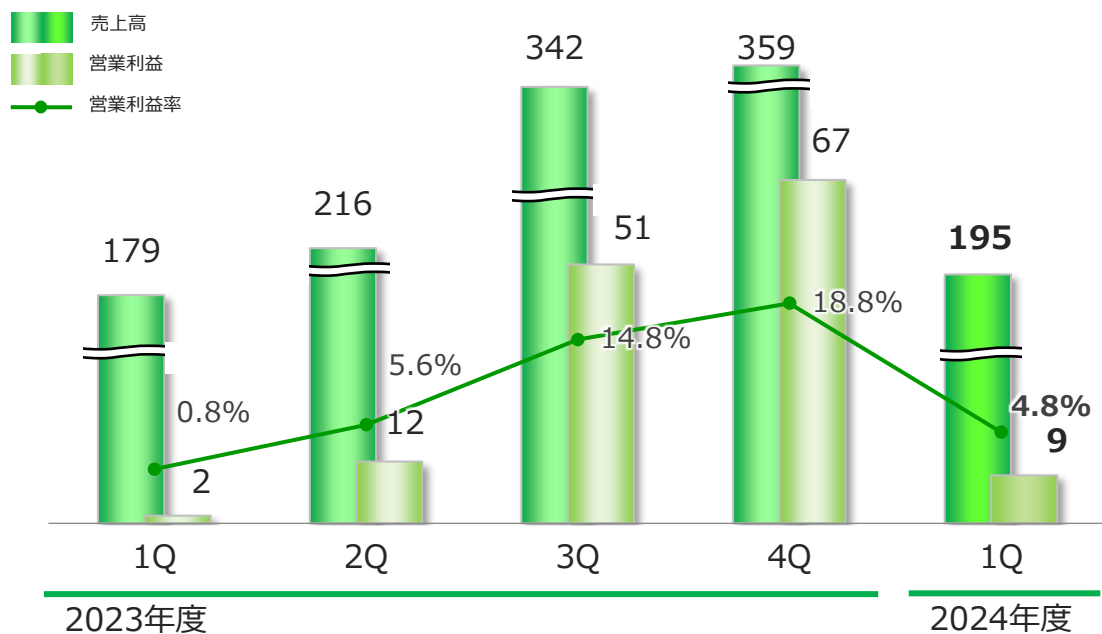
数量・構成変化	+25	戦略拠点を中心に数量増加
原材料価格・売価	+15	コスト上昇の売価反映により増加
経費等	△19	インフレ影響による経費増加
為替	+4	円安による換算影響
超インフレ会計	△4	

# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

## 産業電池電源

## 増収増益

売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



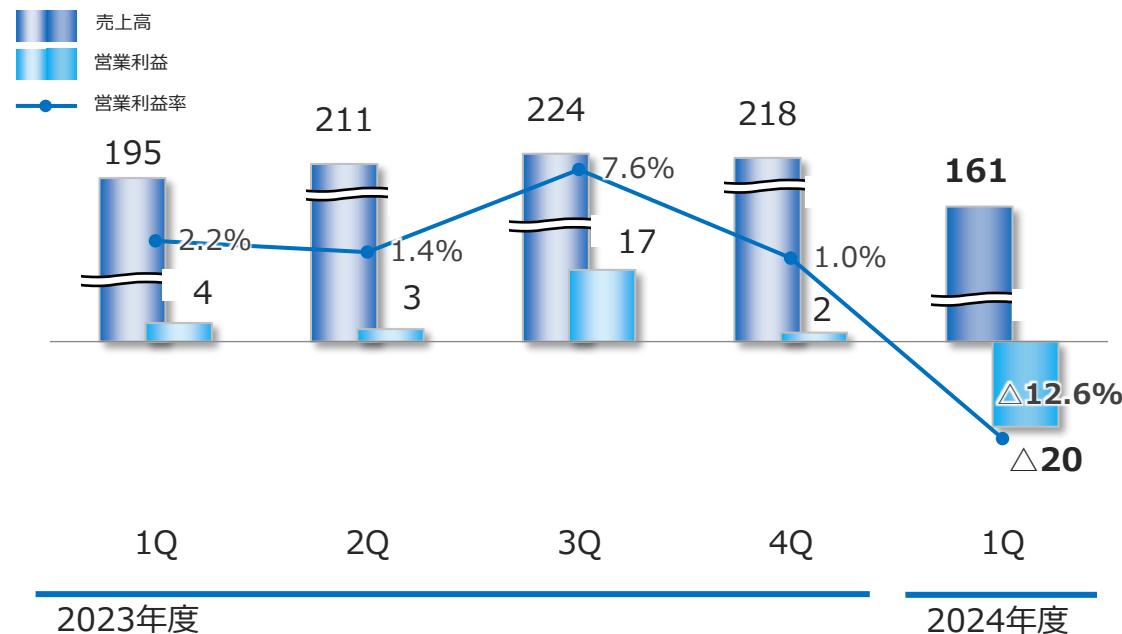
### 増減益要因 (前年比: 4-6月)

数量・構成変化	△1	
原材料価格・売価	+5	売価見直しにより増加
経費等	+3	

## 車載用リチウムイオン電池

## 減収減益

売上高・営業利益・利益率 (3か月)



### 増減益要因 (前年比: 4-6月)

数量・構成変化	△14	PHEV・ESS用の販売数量の減少とそれに伴う操業度の低下影響
原材料価格・売価	△4	リチウム市況下落に伴う売価低下
経費等	△6	在庫の簿価切り下げの影響

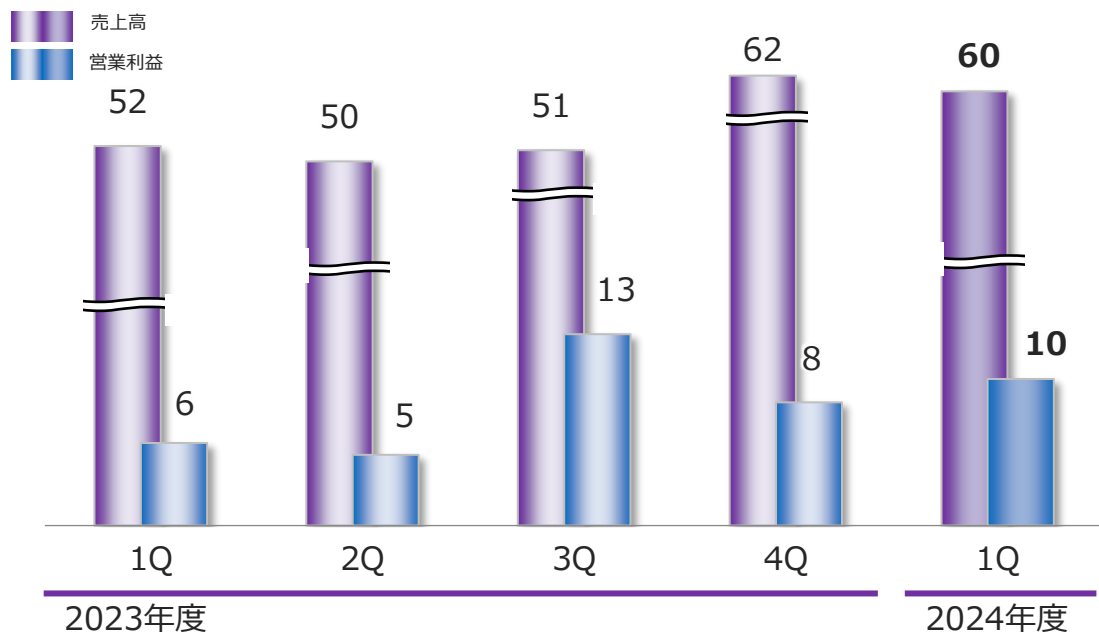
# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

## 特殊電池およびその他

## 増収増益

売上高・営業利益 (3か月)

(億円)



増減益要因 (前年比: 4-6月)

潜水艦用リチウムイオン電池の契約単価見直しならびに、  
経費の減少により増益



## IAS 第29号「超インフレ経済下における財務報告」の概要

▶超インフレ経済下とは、3年累計インフレ率が、100%に近づいているか超えている状態

1.日本円換算時に、資産・負債項目 (BS項目) および収益・費用項目 (PL項目) を**決算日レートで換算**しなければならない

	従来	IAS 第29号
資産・負債項目 (BS項目)	決算日レート	決算日レート
収益・費用項目 (PL項目)	期中平均レート	

2.物価指数 (CPI) の変動を財務諸表に反映する必要がある

### ■貸借対照表への影響

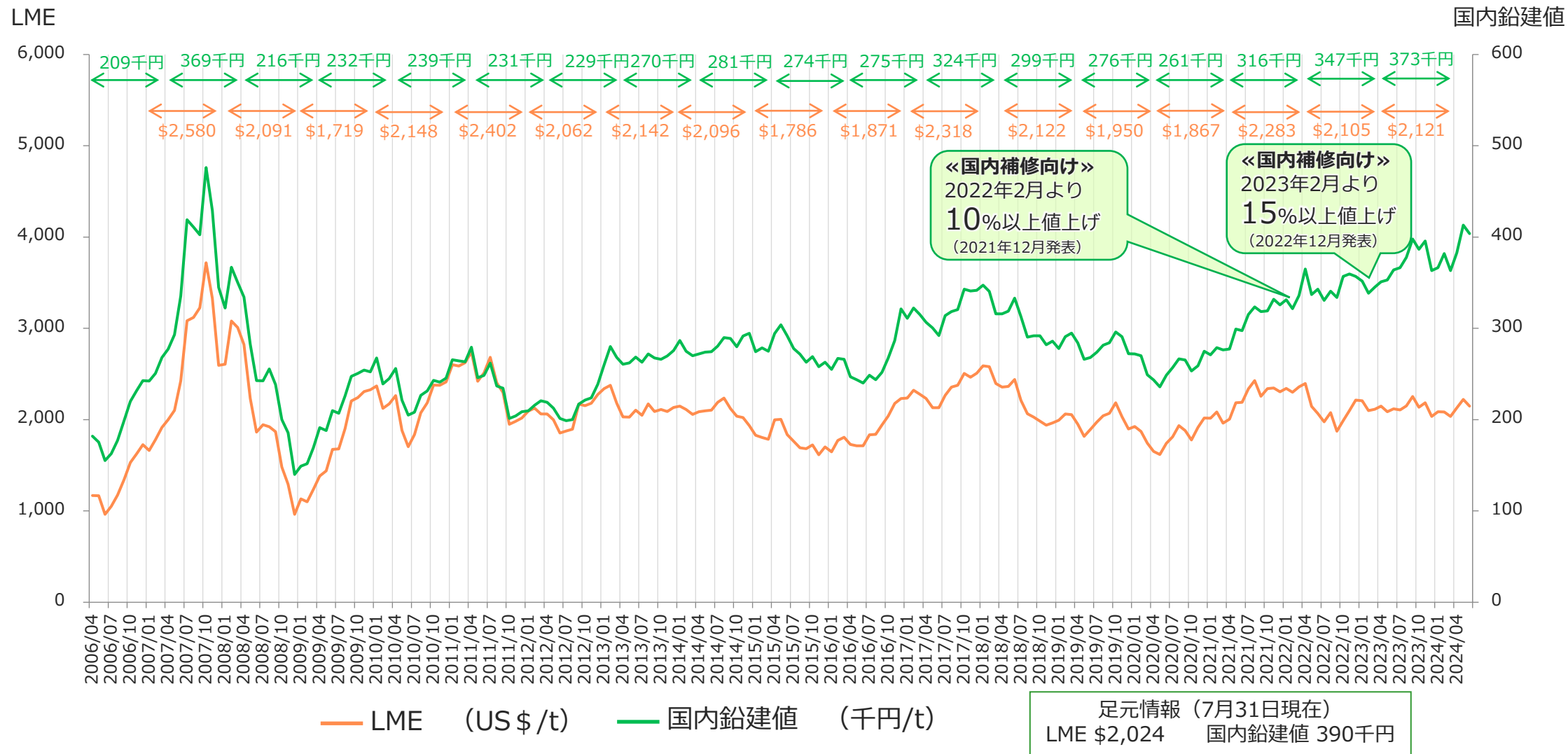
- ・棚卸資産、有形・無形固定資産などの非貨幣性項目は取得日・取引日から、資本金は出資時点から、それぞれ期末時点までの物価変動に応じて修正再表示
- ・利益剰余金は期末時点までの累積的な影響を反映

### ■損益計算書への影響

- ・すべての科目を、取引時点から期末時点までの物価変動に応じて修正再表示

➡ インフレ影響による差分を営業外損益「**正味貨幣持高による損益**」に計上

## 原材料価格の推移



## セグメント別業績の四半期推移

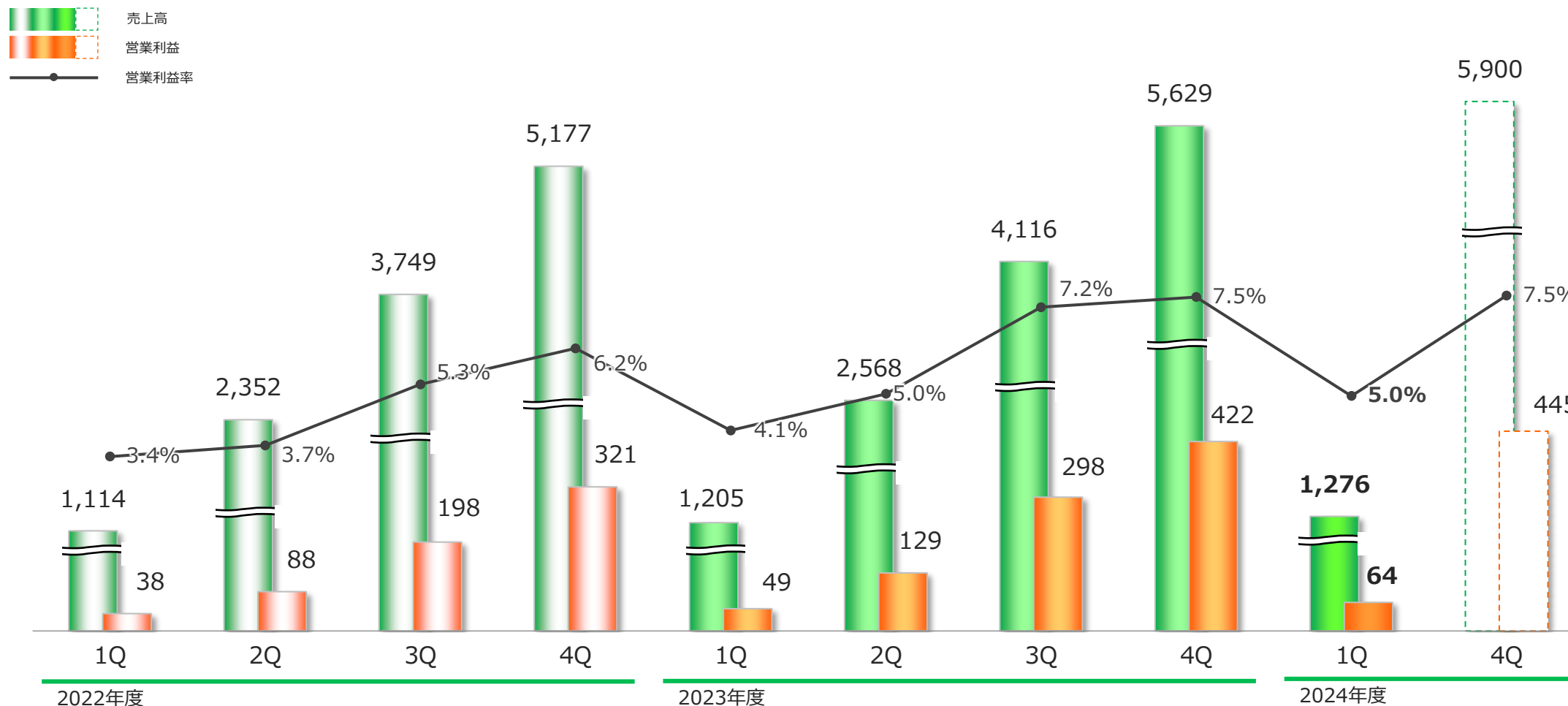
(億円)

		2023 年度										2024 年度											
		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期 (4-3月)		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期見通し (4-3月)			
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)
自動車電池	国内	196	10 (5.2)	215	11 (5.3)	278	30 (10.9)	252	29 (11.4)	940	81 (8.6)	109 (11.6)	208	16 (7.8)	-	-	-	-	-	-	1,000	80 (8.0)	-
	海外	584	28 (4.7)	671	48 (7.2)	652	58 (8.8)	622	18 (2.8)	2,529	151 (6.0)	226 (8.9)	652	48 (7.4)	-	-	-	-	-	-	2,590	165 (6.4)	-
産業電池電源		179	2 (0.8)	216	12 (5.6)	342	51 (14.8)	359	67 (18.8)	1,097	132 (12.0)	151 (13.8)	195	9 (4.8)	-	-	-	-	-	-	1,200	130 (10.8)	-
車載用リチウムイオン電池		195	4 (2.2)	211	3 (1.4)	224	17 (7.6)	218	2 (1.0)	848	26 (3.1)	75 (8.9)	161	△20 (△12.6)	-	-	-	-	-	-	900	40 (4.4)	-
特殊電池およびその他		52	6 (10.9)	50	5 (9.7)	51	13 (25.5)	62	8 (13.7)	215	32 (14.9)	89 (41.4)	60	10 (16.9)	-	-	-	-	-	-	210	30 (14.3)	-
合計		1,205	49 (4.1)	1,363	80 (5.9)	1,548	169 (10.9)	1,513	124 (8.2)	5,629	422 (7.5)	650 (11.6)	1,276	64 (5.0)	-	-	-	-	-	-	5,900	445 (7.5)	675 (11.4)

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。EBITDAはのれん等償却前営業利益+減価償却費です。

## 売上高・営業利益・利益率推移 (累計)

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。